

図表 4-2-5 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（性別）

(%)

	男性	女性
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	77.6	77.1
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	62.4	68.2
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	61.0	62.8
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	56.8	60.0
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	56.5	58.4
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	57.0	57.3
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	49.1	45.6
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	45.6	47.6
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.8	38.2
19 県内離島への観光が促進されていること	38.0	40.5
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	38.4	39.6
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	41.1	34.0
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	38.0	37.5
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	36.5	32.9
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	36.1	34.1
17 観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	34.4	32.6
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	34.0	32.7
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.2	32.6
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	30.5	28.8
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	29.4	28.7
18 観光客が無料W i - f i に接続出来る環境があること	28.6	29.0
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	28.4	24.9
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	26.0	25.4
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	26.9	22.2
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	24.5	18.3
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	22.8	19.3
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	22.0	19.4
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	22.2	18.1
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.2	18.7
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	22.5	17.1
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	21.0	18.1
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	21.4	17.2
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	20.9	17.0
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	20.1	18.1
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	19.2	18.3
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	19.4	15.5
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	17.9	16.3
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	18.3	15.0
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	19.5	13.3
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	18.4	13.1
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	18.2	12.0
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	14.7	13.8

図表 4-2-6 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	76.0	75.5	78.3	75.1	78.1	79.1	76.7
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	68.9	70.6	74.3	63.5	66.3	56.2	54.8
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	70.3	69.1	68.2	62.8	58.0	54.6	48.1
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	74.9	61.2	58.0	53.3	52.8	56.2	62.8
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	74.2	69.7	59.9	52.8	54.9	47.3	49.4
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	53.8	53.0	50.3	53.6	61.3	64.5	62.9
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.3	49.8	43.2	42.9	48.2	49.4	53.1
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	52.7	51.6	51.9	45.0	48.3	38.6	37.8
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	63.9	51.4	46.1	34.5	34.1	28.7	28.4
19	県内離島への観光が促進されていること	55.6	44.7	37.9	35.7	35.7	38.5	35.8
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	61.4	56.0	44.2	33.2	30.0	29.1	28.2
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	40.1	42.8	38.5	32.1	37.3	37.5	35.8
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	51.6	43.5	37.3	32.1	32.9	37.0	36.9
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していること	47.7	41.0	35.7	29.2	29.9	33.3	34.7
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	57.9	41.3	40.8	32.5	30.4	22.4	28.5
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	57.0	44.6	38.6	32.6	24.3	24.2	22.8
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	56.8	43.6	35.6	30.3	25.2	26.4	26.8
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	47.8	40.0	33.2	30.9	27.0	25.9	25.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	47.4	43.7	32.3	25.0	24.4	21.4	18.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	46.6	44.7	29.9	23.9	22.7	21.5	24.0
18	観光客が無料W i - F iに接続出来る環境があること	46.3	35.5	29.5	25.5	23.6	26.1	22.8
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	44.8	41.0	27.9	23.7	22.8	16.3	20.4
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	42.5	41.0	26.4	23.3	19.4	17.5	16.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	27.0	31.9	23.0	20.9	22.9	21.4	27.3
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	33.8	30.6	22.0	15.9	17.6	17.4	21.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	40.6	33.4	20.9	16.5	15.1	14.7	16.1
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	38.8	30.3	21.0	14.9	16.5	17.1	15.3
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	39.3	27.7	20.7	15.7	15.8	15.6	16.8
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	38.0	25.8	21.0	15.7	18.6	14.7	14.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	36.3	25.9	20.5	15.7	18.5	14.3	16.5
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	33.0	29.2	19.4	15.5	15.4	15.2	15.4
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	36.1	26.5	20.9	15.7	16.3	13.5	13.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	35.3	26.4	19.2	15.4	14.4	13.3	19.3
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	36.0	24.5	19.0	13.4	17.1	17.6	14.4
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	26.0	20.2	16.5	13.6	17.4	17.7	26.4
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	41.5	30.2	16.6	13.1	11.4	9.7	14.2
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	37.0	26.4	18.9	11.0	14.7	11.0	12.6
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	20.1	24.4	14.9	12.1	13.5	16.0	18.7
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.5	22.3	14.9	13.6	13.4	14.5	12.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	35.6	25.7	15.8	12.1	11.4	9.8	10.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報起因とする風評被害への対応方針が整っていること	29.7	22.2	16.9	11.1	10.0	10.1	15.2
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	33.2	22.8	17.1	12.3	7.7	7.4	8.7

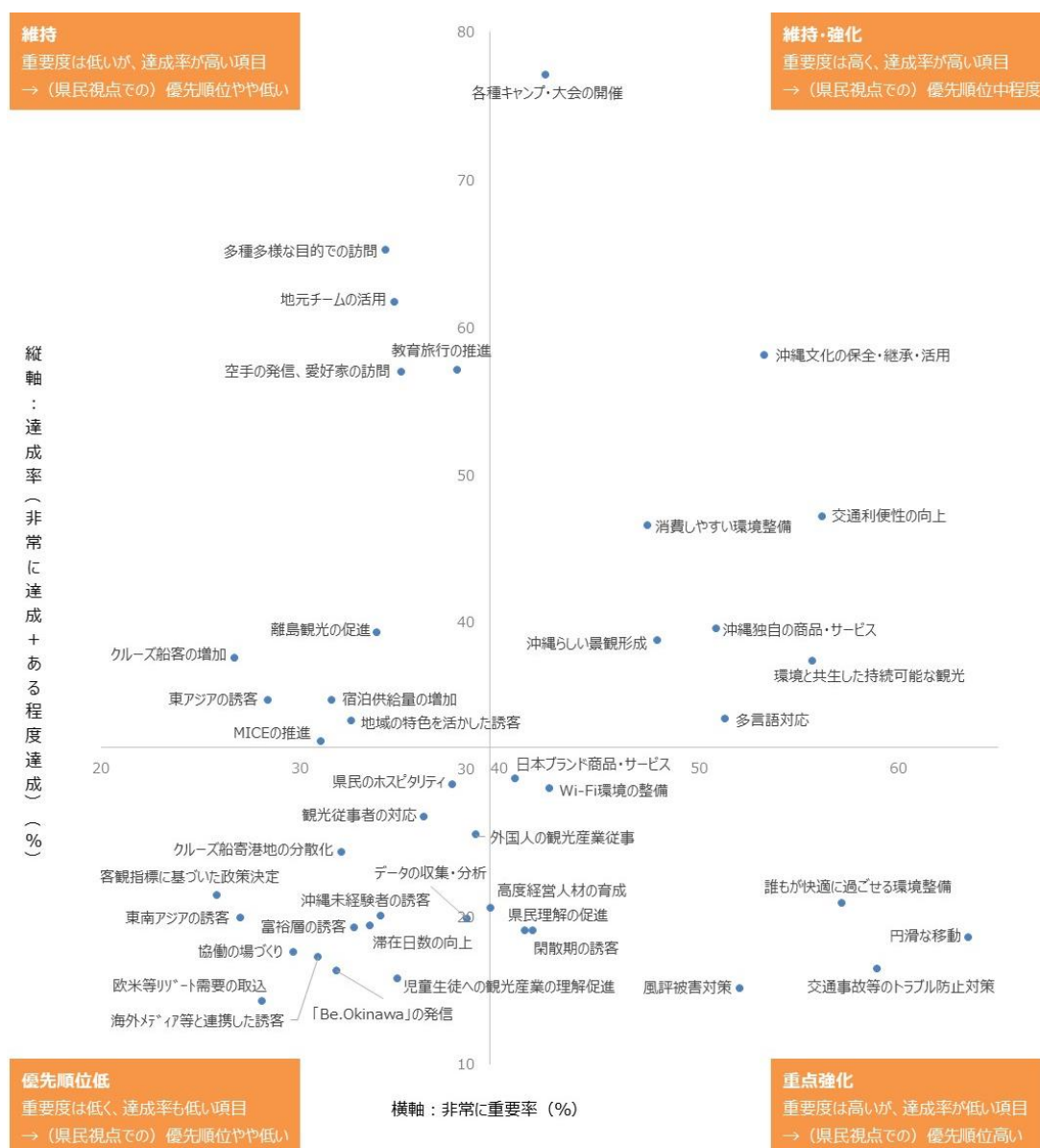
図表 4-2-7 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	76.4	77.6	77.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	67.7	69.4	63.8
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	57.0	61.8	63.0
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	54.4	59.8	59.1
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	61.1	62.1	55.1
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	53.4	59.9	57.6
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	43.3	49.5	47.4
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	47.9	47.6	46.4
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	46.1	38.5	38.7
19	県内離島への観光が促進されていること	34.9	36.6	41.3
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	39.3	42.2	38.1
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	36.5	44.0	36.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	38.3	38.5	37.4
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.2	36.0	35.0
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	34.8	35.6	34.8
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	30.3	31.7	34.9
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	34.5	37.2	32.2
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	35.6	36.6	30.0
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	34.7	28.0	28.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	32.2	29.5	28.2
18	観光客が無料W i - F iに接続出来る環境があること	24.9	30.1	29.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	24.4	29.1	26.9
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	24.4	26.9	25.3
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減、観光地の分散化等が図られていること	25.2	26.0	23.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	19.7	21.5	22.2
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	18.1	20.0	21.9
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	18.8	20.4	20.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	21.6	19.6	19.8
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.0	16.5	20.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	20.9	17.6	20.5
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	20.4	18.8	19.1
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	18.6	21.7	18.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	18.5	16.8	20.1
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	16.6	20.5	19.2
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	19.5	17.4	18.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	20.5	16.6	17.5
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	19.6	18.4	16.7
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	15.6	16.8	16.4
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	15.7	16.7	16.3
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	16.9	17.0	15.4
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	14.2	13.9	15.7
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	14.7	13.9	14.2

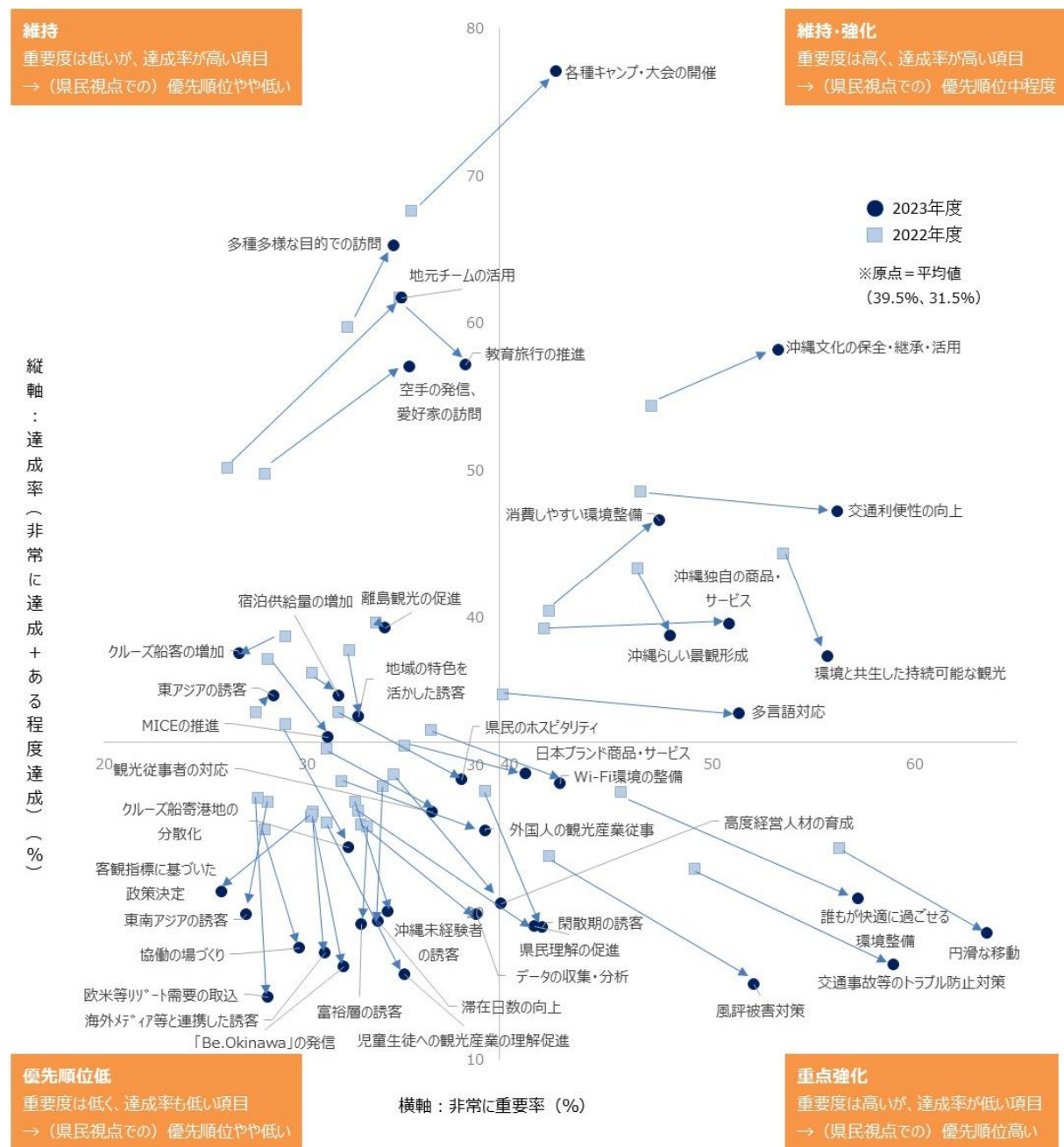
(3) 観光施策の重要度と達成度からみた県民ニーズ

- 「各種キャンプ・大会の開催」「沖縄文化の保全・継承・活用」「交通利便性の向上」「消費しやすい環境整備」等は、県民にとって重要度・達成率ともに高い項目であることから、現状の沖縄観光の強みとして、維持・強化していくことが必要である。一方、「誰もが快適に過ごせる環境整備」「円滑な移動」「交通事故等のトラブル防止対策」等は、県民にとって重要度が高いにもかかわらず達成率が低位に留まることから、県民ニーズが高い施策であると考えられる。
- 経年で変化をみると、「各種キャンプ・大会の開催」「沖縄文化の保全・継承・活用」「消費しやすい環境整備」は年々達成度が上昇している。一方、「多言語対応」「誰もが快適に過ごせる環境整備」「円滑な移動」「交通事故等のトラブル防止対策」は、年々重要度が高まっているにもかかわらず、達成度は低下している。

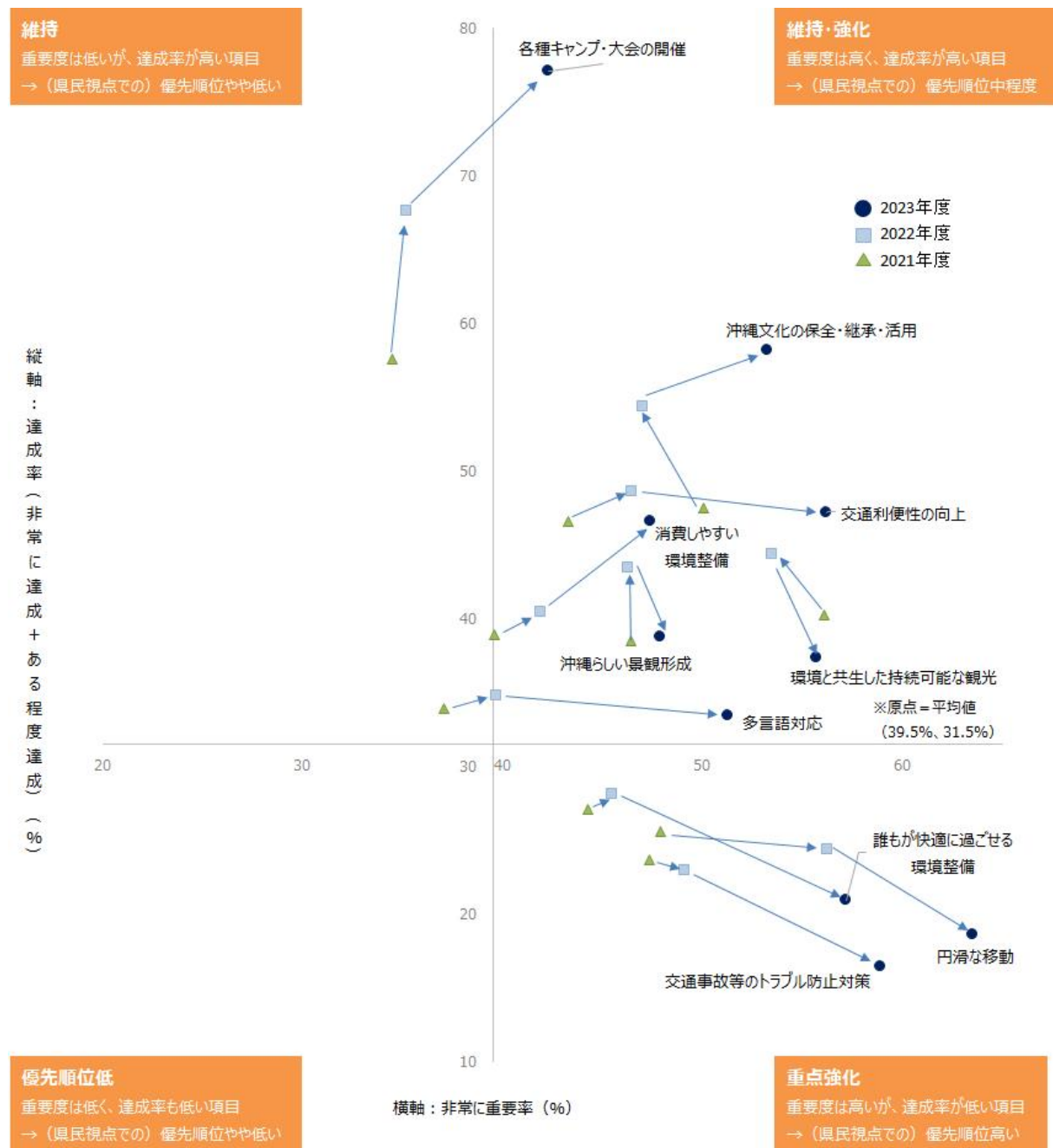
図表 4-3-1 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性



図表 4-3-2 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性(前回調査からの変化)



図表 4-3-3 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性（経年変化 ※一部項目のみ抜粋）



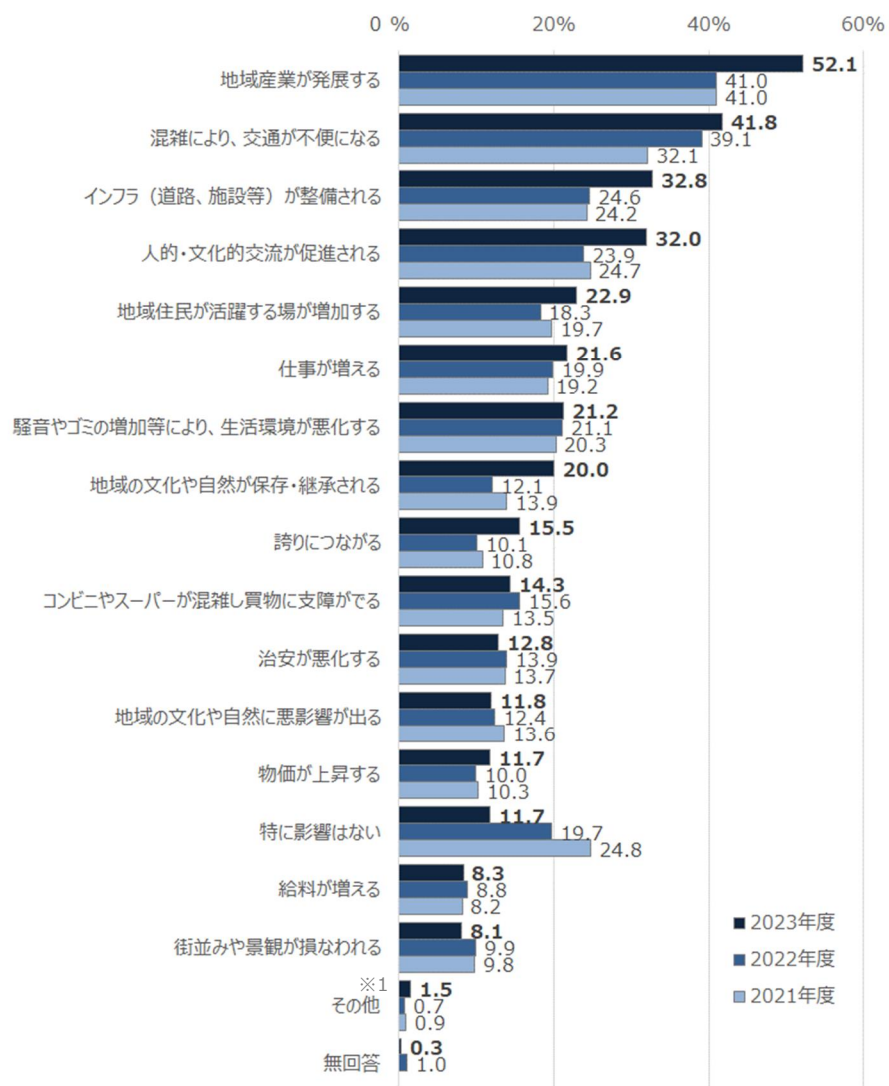
5. 観光客来訪による影響

(1) 観光客が訪れることによる影響

Q3 観光客が訪れることで、あなたの生活にどのような影響があると感じていますか。

- 観光客が訪れることによる影響としては、「地域産業が発展する」が 52.1%で 1 位となった。以下、「混雑により、交通が不便になる」41.8%、「インフラ（道路、施設等）が整備される」32.8%、「人的・文化的交流が促進される」32.0%、「地域住民が活躍する場が増加する」22.9%と続く。前回調査と比較するといずれも増加している。
- 地域別でみると、“宮古”以外では「地域産業が発展する」が 1 位であった。特に“中部”、“南部”、“那覇市”で高い。「混雑により、交通が不便になる」はいずれの地域においても高いが、特に“那覇市”で 47.3%と高い。“宮古”では、「コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる」も高く、42.5%が回答している。
- 性別にみると、“男性”のほうが「混雑により、交通が不便になる」「インフラ（道路、施設等）が整備される」「仕事が増える」と回答した割合が高かった。
- 年代別にみると、「混雑により、交通が不便になる」は特に 30 代、40 代で高い傾向にある。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーション”で接する人は「地域産業が発展する」が高く、“日常業務の一環”で接する人は「仕事が増える」が高い。
- 観光発展への期待別では、“期待する派”は「地域産業が発展する」が特に高く半数以上が回答している。“期待しない派”は「混雑により、交通が不便になる」「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」「地域の文化や自然に悪影響が出る」などマイナスの影響を懸念する人が多い。

図表 5-1-1 観光客が訪れることによる影響【複数回答】



※1：「その他」の自由記述で挙げられた内容：感染症が増える／交通事故やルール違反が増える など

図表 5-1-2 観光客が訪れることによる影響（地域別）【複数回答】

2023年度 (%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
地域産業が発展する	48.4	54.7	52.6	53.2	27.6	47.3
混雑により、交通が不便になる	40.3	42.6	47.3	35.2	43.0	36.4
インフラ（道路、施設等）が整備される	32.6	33.9	33.1	33.8	22.1	24.4
人的・文化的交流が促進される	28.7	31.9	35.8	32.5	24.8	24.8
地域住民が活躍する場が増加する	26.9	22.4	21.9	25.3	17.9	19.8
仕事が増える	28.2	20.8	20.1	21.2	19.9	28.4
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	21.9	19.1	27.7	15.2	28.7	29.4
地域の文化や自然が保存・継承される	19.9	20.5	21.9	20.6	9.6	10.6
誇りにつながる	19.1	15.2	17.1	15.6	7.1	9.7
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	19.0	10.6	14.8	10.8	42.5	32.0
治安が悪化する	9.9	11.5	18.2	8.2	23.0	16.0
地域の文化や自然に悪影響が出る	10.9	10.0	14.6	9.3	23.5	20.2
物価が上昇する	8.6	10.8	14.8	9.3	22.1	13.7
特に影響はない	15.0	11.2	10.4	12.7	15.3	9.4
給料が増える	9.3	7.4	9.2	8.4	5.5	15.0
街並みや景観が損なわれる	7.6	6.8	10.1	5.7	19.7	14.1
その他	2.7	0.7	2.1	0.8	7.6	1.1
無回答	1.0	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0

2022年度 (%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
地域産業が発展する	37.4	41.3	41.8	42.8	27.8	45.5
混雑により、交通が不便になる	47.1	40.1	36.8	37.6	37.0	31.5
インフラ（道路、施設等）が整備される	18.4	25.6	25.4	26.1	21.2	19.2
人的・文化的交流が促進される	15.3	26.2	26.2	21.1	20.1	21.4
地域住民が活躍する場が増加する	13.2	20.1	18.3	16.4	13.4	23.2
仕事が増える	21.9	17.1	24.1	18.4	14.7	36.1
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	30.2	19.5	18.5	18.4	40.4	28.2
地域の文化や自然が保存・継承される	8.0	13.9	11.3	11.0	12.5	10.4
誇りにつながる	9.0	10.9	11.1	9.4	3.2	8.6
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	32.5	12.2	12.3	13.2	36.0	26.6
治安が悪化する	17.8	14.6	12.1	10.5	15.5	21.1
地域の文化や自然に悪影響が出る	10.3	11.8	11.2	11.8	18.5	27.1
物価が上昇する	7.8	10.1	11.4	8.0	14.8	9.4
特に影響はない	19.4	17.3	21.0	24.7	21.6	14.3
給料が増える	8.7	8.0	10.4	7.7	1.8	21.2
街並みや景観が損なわれる	15.4	7.9	10.3	7.2	25.4	15.7
その他	0.0	0.7	0.7	1.2	0.9	0.0
無回答	0.0	1.4	0.4	1.4	1.2	0.0

図表 5-1-3 観光客が訪れることによる影響（性別）【複数回答】

(%)

	男性	女性
地域産業が発展する	52.0	52.7
混雑により、交通が不便になる	43.7	39.7
インフラ（道路、施設等）が整備される	34.9	31.1
人的・文化的交流が促進される	30.9	32.9
地域住民が活躍する場が増加する	23.9	22.3
仕事が増える	24.5	19.0
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	21.2	21.2
地域の文化や自然が保存・継承される	18.4	22.1
誇りにつながる	12.9	18.1
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	15.1	13.4
治安が悪化する	14.7	10.9
地域の文化や自然に悪影響が出る	12.5	10.7
物価が上昇する	12.1	11.0
特に影響はない	11.2	12.1
給料が増える	8.5	8.3
街並みや景観が損なわれる	9.1	7.2
その他	1.7	1.2
無回答	0.3	0.3

図表 5-1-4 観光客が訪れることによる影響（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
地域産業が発展する	44.5	54.4	51.5	56.6	52.8	49.4	49.3
混雑により、交通が不便になる	33.7	44.8	48.3	49.7	44.9	34.2	23.0
インフラ（道路、施設等）が整備される	22.1	28.5	35.7	35.4	33.9	34.4	33.5
人的・文化的交流が促進される	37.5	32.8	29.7	27.7	29.8	36.6	35.1
地域住民が活躍する場が増加する	17.9	23.2	25.3	21.3	24.1	24.6	20.6
仕事が増える	10.4	25.7	26.2	23.6	23.7	19.3	12.3
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	21.0	18.1	25.3	23.0	21.6	22.7	12.3
地域の文化や自然が保存・継承される	25.1	16.9	13.6	16.2	18.4	27.6	30.1
誇りにつながる	24.6	17.4	15.6	10.8	14.1	15.5	17.3
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	10.4	14.0	17.3	16.5	15.8	13.0	7.6
治安が悪化する	7.0	17.5	13.7	14.3	13.2	10.2	9.1
地域の文化や自然に悪影響が出る	7.4	11.0	14.5	14.4	13.3	10.5	6.4
物価が上昇する	7.1	10.7	15.5	11.9	13.5	11.6	6.8
特に影響はない	16.2	9.1	11.2	9.8	9.8	12.4	19.5
給料が増える	4.3	10.3	12.1	8.7	9.6	5.4	3.4
街並みや景観が損なわれる	4.5	9.9	6.6	9.5	9.4	8.6	5.3
その他	0.0	2.0	2.1	1.6	1.6	1.2	0.5
無回答	1.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.9	0.2

図表 5-1-5 観光客が訪れることによる影響（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
地域産業が発展する	52.9	60.2	50.2
混雑により、交通が不便になる	38.3	46.2	41.7
インフラ（道路、施設等）が整備される	26.2	40.4	32.6
人的・文化的交流が促進される	36.0	43.8	28.2
地域住民が活躍する場が増加する	26.9	28.5	20.8
仕事が増える	59.8	19.6	13.9
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	18.9	26.9	20.3
地域の文化や自然が保存・継承される	20.0	26.1	18.4
誇りにつながる	16.9	22.1	13.4
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	14.1	14.9	14.2
治安が悪化する	14.2	16.6	11.3
地域の文化や自然に悪影響が出る	15.1	15.6	10.0
物価が上昇する	11.5	13.7	11.2
特に影響はない	5.9	5.9	14.5
給料が増える	28.9	7.5	3.9
街並みや景観が損なわれる	10.1	8.1	7.6
その他	1.1	2.6	1.0
無回答	0.0	0.0	0.2

図表 5-1-6 観光客が訪れることによる影響（観光発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	観光発展を期待する派	どちらともいえない	観光発展を期待しない派
地域産業が発展する	56.5	36.8	22.8
混雑により、交通が不便になる	39.2	50.9	61.5
インフラ（道路、施設等）が整備される	35.1	24.7	16.6
人的・文化的交流が促進される	35.0	22.0	16.9
地域住民が活躍する場が増加する	25.0	18.1	7.0
仕事が増える	23.0	16.2	14.3
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	19.3	27.9	40.4
地域の文化や自然が保存・継承される	21.7	14.7	3.5
誇りにつながる	17.6	8.4	5.6
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	12.0	21.9	28.7
治安が悪化する	11.2	18.3	27.6
地域の文化や自然に悪影響が出る	9.6	19.6	31.9
物価が上昇する	10.4	15.4	21.9
特に影響はない	10.8	16.5	10.7
給料が増える	9.3	4.8	5.5
街並みや景観が損なわれる	6.2	15.7	18.7
その他	0.9	2.5	6.6
無回答	0.2	0.2	0.0

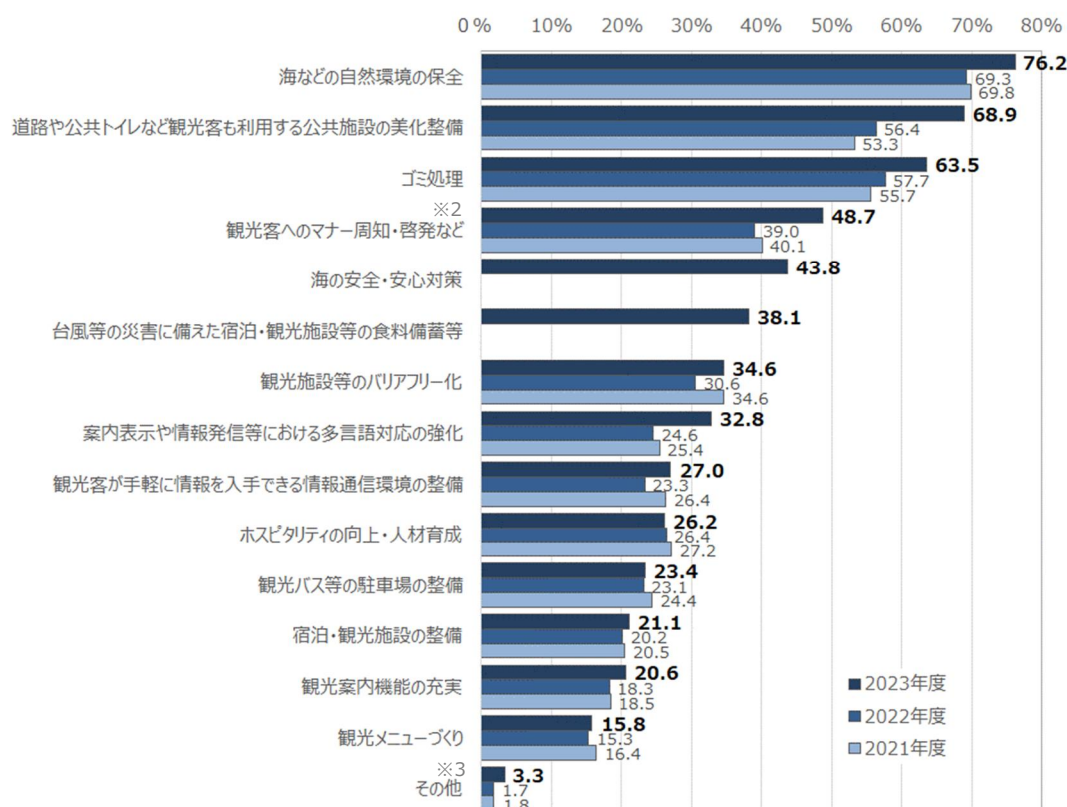
6. 観光税の導入に対する意識

(1) 観光税を導入した場合の活用方法

Q14 沖縄県では観光を振興するため観光目的税の導入を検討していますが、導入した場合どのような目的に活用した方が良いと思いますか。

- 観光税の活用方法としては前回調査に引き続き「海などの自然環境の保全」が 76.2%と最も多かった。次いで「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」68.9%、「ゴミ処理」63.5%と続く。自然環境保全や環境美化への活用が多く望まれている。いずれも前回調査と比べて増加している。
- 地域別でみると、地域間で順位に大きな差はみられない。
- 性別でみると、順位に大きな差はみられないが、「海の安全・安心対策」、「台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等」、「観光施設等のバリアフリー化」、「案内表示や情報発信等における多言語対応の強化」等は“女性”の選択率が高い傾向にある。
- 年代別でみると、全体的に年代が上昇するにつれて選択率がやや高くなる傾向にある。
- 観光発展への期待別でみると、多くの項目で“観光発展を期待する派”の選択率が高い傾向にある。

図表 6-1-1 観光税を導入した場合の活用方法【複数回答】



※1：一部の選択肢は 2023 年度調査で新設されたものであるため、2022 年度の結果が表示されていない。

※2：2022 年度までの調査票では「観光パトロール」と表現されていた。

※3：「その他」の自由記述で挙げられた内容：県民への還元／貧困家庭の支援／道路の草刈り／鉄道インフラ整備 など

図表 6-1-2 観光税を導入した場合の活用方法（地域別）【複数回答】

	（％）					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
海などの自然環境の保全	73.0	77.1	77.5	74.8	71.5	77.0
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	67.3	69.8	67.6	69.4	65.3	72.6
ゴミ処理	68.7	62.1	61.9	65.7	60.1	70.2
観光客へのマナー周知・啓発など	51.4	48.6	49.5	46.9	49.5	47.6
海の安全・安心対策	48.7	44.5	40.7	44.0	38.3	44.9
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	37.9	39.2	39.0	36.5	31.4	36.9
観光施設等のバリアフリー化	31.0	35.9	34.4	36.1	23.5	32.9
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	34.1	33.0	35.3	30.6	27.7	29.3
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	29.4	29.2	25.3	25.4	17.0	24.7
ホスピタリティの向上・人材育成	28.9	26.9	28.5	23.6	15.6	22.9
観光バス等の駐車場の整備	22.4	21.6	28.4	24.0	17.5	20.6
宿泊・観光施設の整備	23.7	21.6	18.0	25.3	9.8	18.1
観光案内機能の充実	21.1	22.2	18.5	20.2	17.2	19.5
観光メニューづくり	20.0	16.9	14.4	14.7	9.5	13.4
その他	6.4	3.1	3.9	2.1	2.5	1.7
特にない	2.1	1.3	1.3	1.1	1.2	2.7
無回答	3.1	2.0	1.4	1.4	6.0	0.8

図表 6-1-3 観光税を導入した場合の活用方法（性別）【複数回答】

	（％）	
	男性	女性
海などの自然環境の保全	75.6	77.3
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	67.7	70.7
ゴミ処理	63.5	63.5
観光客へのマナー周知・啓発など	48.2	49.6
海の安全・安心対策	40.0	47.9
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	34.6	42.0
観光施設等のバリアフリー化	31.2	38.9
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	29.9	35.7
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	26.2	28.0
ホスピタリティの向上・人材育成	25.3	27.2
観光バス等の駐車場の整備	25.7	21.4
宿泊・観光施設の整備	22.9	19.5
観光案内機能の充実	20.7	20.8
観光メニューづくり	15.2	16.6
その他	4.1	2.3
特にない	1.7	1.1
無回答	2.4	1.5

図表 6-1-4 観光税を導入した場合の活用方法（年代別）【複数回答】

	（％）						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
海などの自然環境の保全	76.7	72.5	75.1	71.5	78.5	80.6	81.3
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	57.1	67.6	70.2	65.5	69.7	75.5	72.6
ゴミ処理	58.2	63.9	58.9	62.3	65.9	72.0	58.7
観光客へのマナー周知・啓発など	42.1	46.8	44.7	46.3	53.1	52.2	54.1
海の安全・安心対策	40.4	45.7	41.8	37.2	42.8	51.2	49.0
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	35.9	32.1	33.7	29.2	42.0	52.3	44.5
観光施設等のバリアフリー化	36.1	34.1	32.4	32.3	34.8	39.7	34.9
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	27.4	35.0	28.1	27.9	31.6	41.4	40.2
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	25.0	24.2	18.7	22.1	30.2	36.9	35.2
ホスピタリティの向上・人材育成	20.8	23.9	23.4	25.7	27.8	32.1	26.9
観光バス等の駐車場の整備	21.2	17.3	23.4	21.6	24.7	30.5	22.9
宿泊・観光施設の整備	21.7	26.7	18.3	18.6	20.0	23.2	21.0
観光案内機能の充実	15.2	15.3	15.1	16.4	19.8	32.9	32.2
観光メニューづくり	12.4	13.6	13.6	14.7	16.1	21.6	18.1
その他	2.7	2.8	7.3	4.0	1.9	1.6	1.2
特にない	2.2	1.8	1.3	1.3	1.0	1.1	1.7
無回答	4.4	2.3	2.2	1.8	1.2	0.5	2.9

図表 6-1-5 観光税を導入した場合の活用方法（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
海などの自然環境の保全	77.9	77.7	75.9
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	66.5	73.3	68.8
ゴミ処理	64.9	69.2	61.7
観光客へのマナー周知・啓発など	53.2	47.0	48.5
海の安全・安心対策	40.9	49.0	43.3
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	36.9	41.5	37.7
観光施設等のバリアフリー化	29.0	38.6	35.1
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	33.4	40.9	31.0
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	28.6	30.6	25.9
ホスピタリティの向上・人材育成	28.9	32.3	24.3
観光バス等の駐車場の整備	23.1	25.5	22.9
宿泊・観光施設の整備	21.4	25.1	20.2
観光案内機能の充実	21.3	24.5	19.7
観光メニューづくり	17.8	20.0	14.4
その他	3.3	4.1	2.9
特になし	1.2	0.5	1.5
無回答	1.6	2.4	1.6

図表 6-1-6 観光税を導入した場合の活用方法（観光発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	観光発展を期待する派	どちらともいえない	観光発展を期待しない派
海などの自然環境の保全	80.0	71.9	51.9
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	73.3	62.4	40.3
ゴミ処理	66.4	60.6	43.6
観光客へのマナー周知・啓発など	49.3	52.2	43.5
海の安全・安心対策	46.3	40.9	26.4
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	40.8	34.7	19.7
観光施設等のバリアフリー化	37.6	28.2	16.1
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	35.9	25.3	17.3
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	30.7	16.9	7.0
ホスピタリティの向上・人材育成	29.8	15.5	10.5
観光バス等の駐車場の整備	25.5	18.7	9.1
宿泊・観光施設の整備	23.6	13.7	11.8
観光案内機能の充実	23.2	13.3	7.6
観光メニューづくり	18.5	7.5	2.2
その他	3.0	2.8	12.8
特になし	0.8	2.5	8.8
無回答	0.2	0.1	0.5

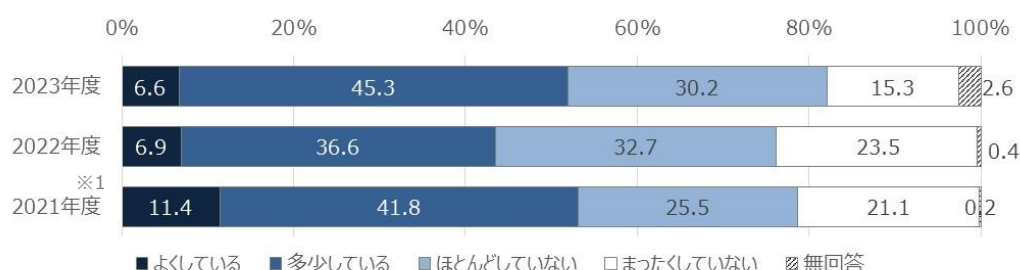
7. 持続可能な観光に対する意識

(1) 持続可能な観光の推進に関わる自身の活動

Q15 沖縄県では、観光を通じて自然や生物の保全、地域文化の保存・継承、地域経済への貢献をバランスよく実現する「持続可能な観光」を推進しています。あなたは、こうした「持続可能な観光」の推進に関わるような活動をしていますか。

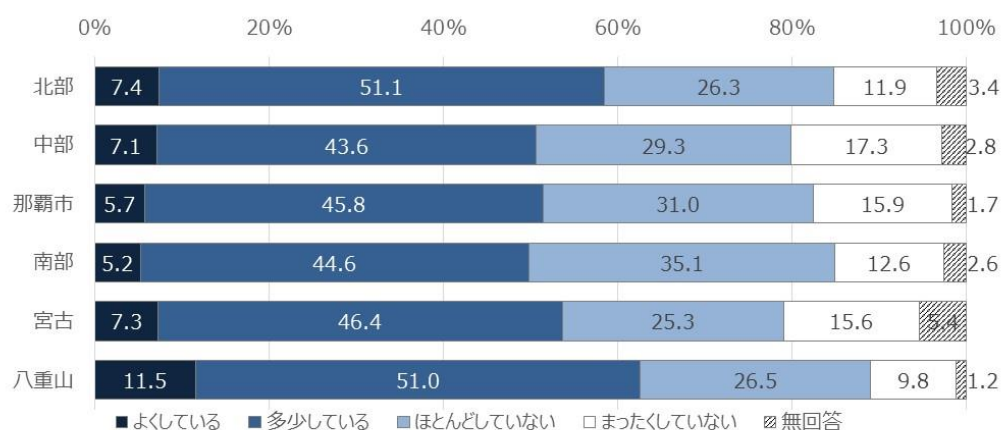
- 回答者自身の「持続可能な観光」の推進に関わるような活動については、「よくしている」「多少している」を合わせて 51.9%が活動していると回答した。前回の調査からは 8.4%の増加となった。
- 地域別でみると、“八重山”では、「よくしている」「多少している」を合わせて 62.5%と他の地域より高い。
- 性別でみると、“女性”の方が活動をしている傾向にある。
- 年代別でみると、“10代”で活動をしている比率が高い傾向にある。
- 観光客と接する機会別でみると、“日常業務の一環”、“日常生活のコミュニケーション”で接する人は“機会なし”の人よりも活動をしている比率が高い傾向にある。

図表 7-1-1 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか

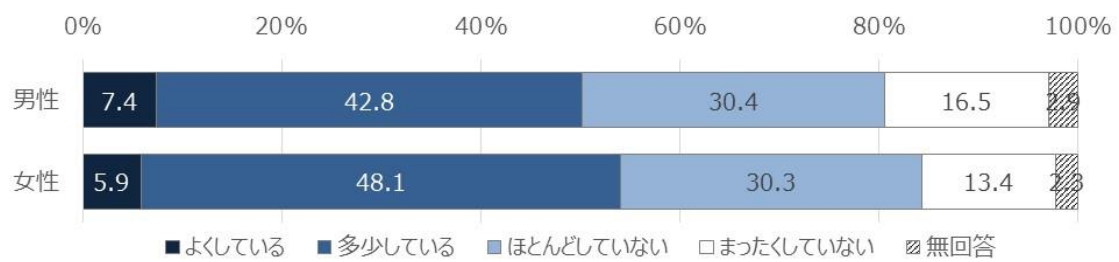


※1：2022年度調査より調査票における「持続可能な観光の推進に関わるような活動の例」を変更しているため、2021年度調査の結果と単純に比較することはできない。

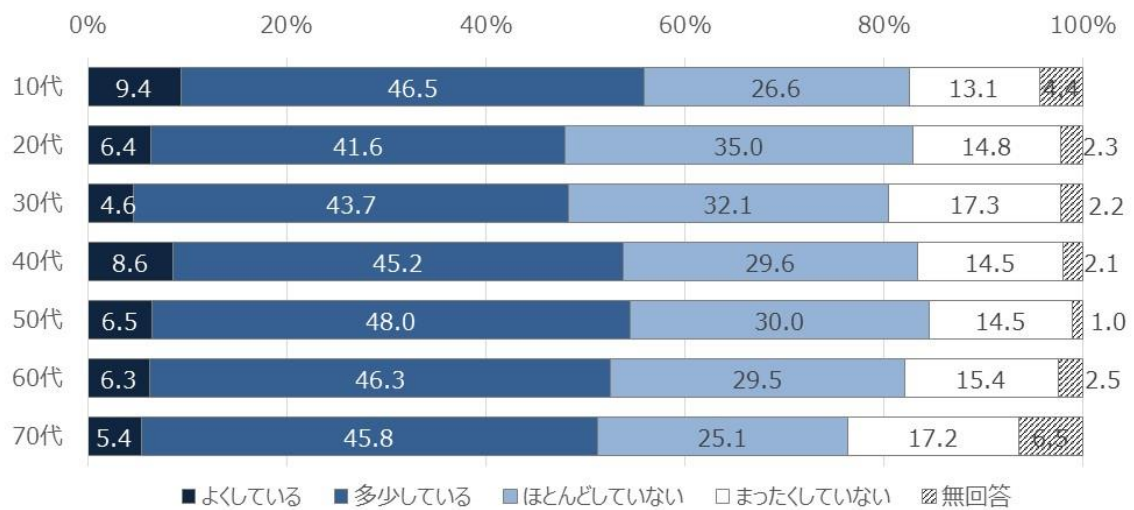
図表 7-1-2 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（地域別）



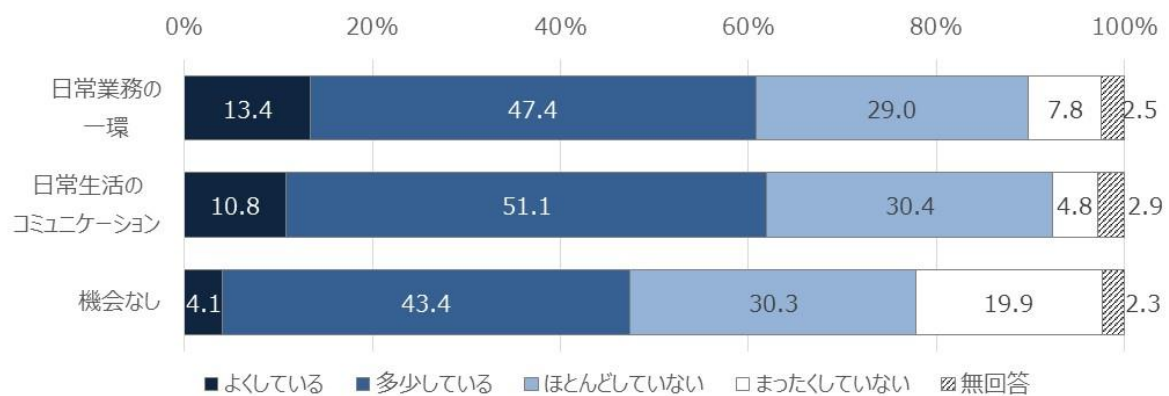
図表 7-1-3 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（性別）



図表 7-1-4 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（年代別）



図表 7-1-5 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（観光客と接する機会別）



(2) 観光客の行動に対する評価

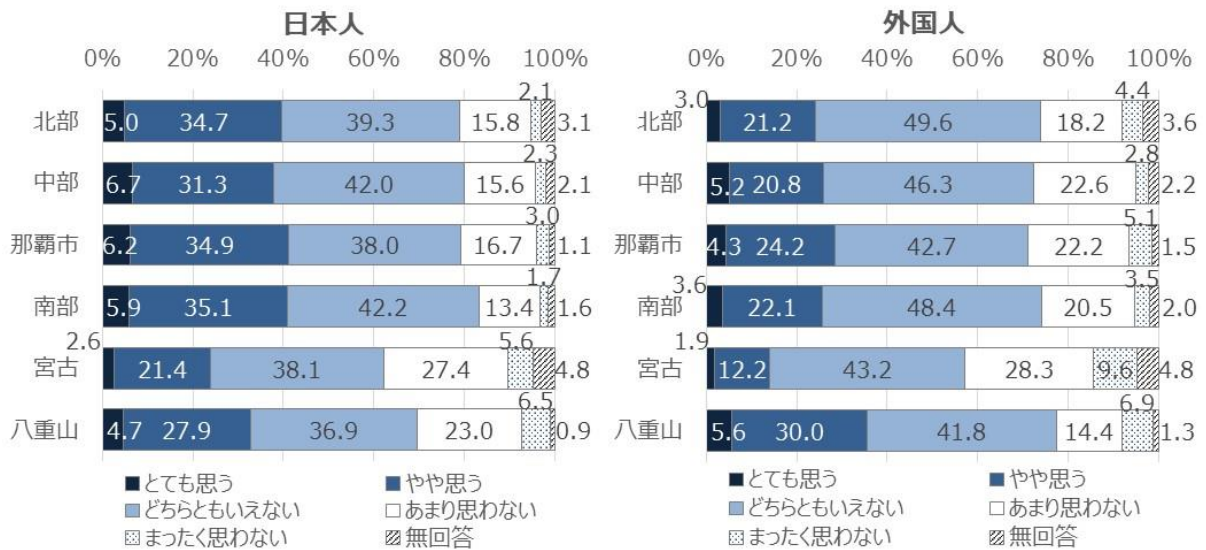
Q16 沖縄県を訪れる観光客は、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていると思いますか。

- 沖縄県を訪れる日本人観光客と外国人観光客について、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動が出来ていると思うか尋ねたところ、「とても思う」「やや思う」を合わせると、日本人に対しては 38.7%、外国人に対しては 26.2%、日本人と外国人を合算すると 32.4%が行動できていると評価している。
- 地域別でみると、日本人の行動、外国人の行動ともに“宮古”における評価が低い。
- 性別でみると、外国人の行動については“女性”の評価が低い。
- 年代別でみると、“40 代”までは、日本人の行動、外国人の行動ともに、年代が上昇するにつれて評価が低くなる傾向にある。
- 観光客と接する機会別でみると、接する“機会なし”の人は外国人の行動に対する評価が低い。

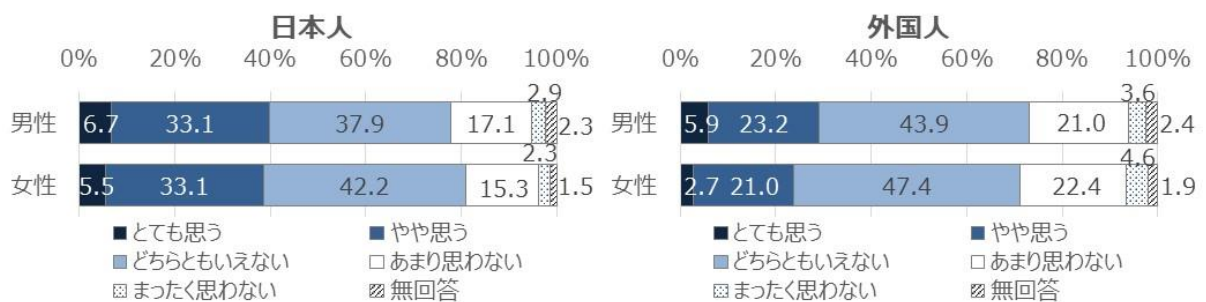
図表 7-2-1 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか



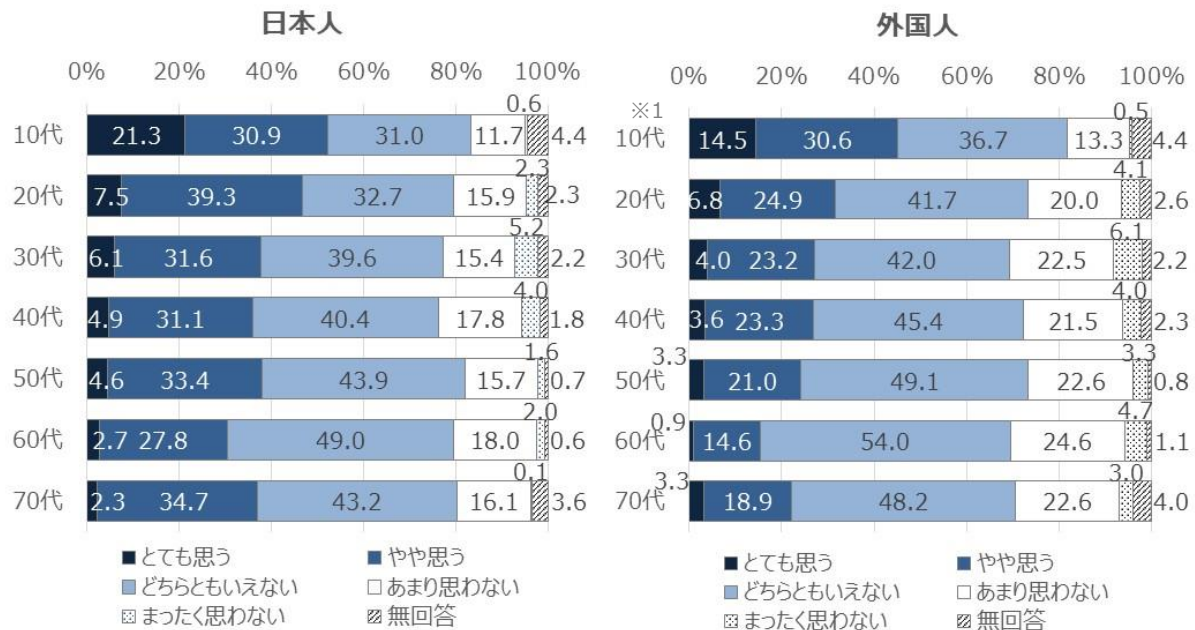
図表 7-2-2 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（地域別）



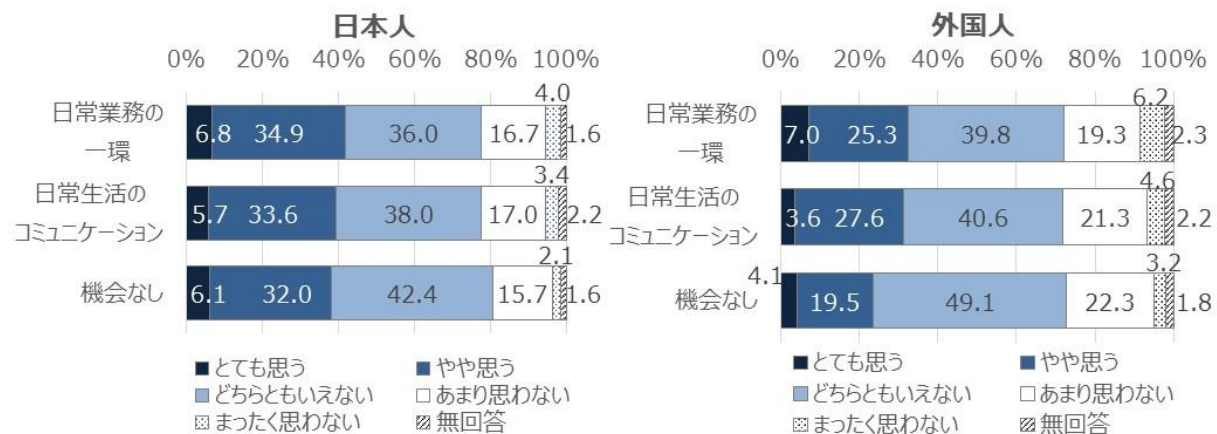
図表 7-2-3 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（性別）



図表 7-2-4 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（年代別）



図表 7-2-5 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（観光客と接する機会別）

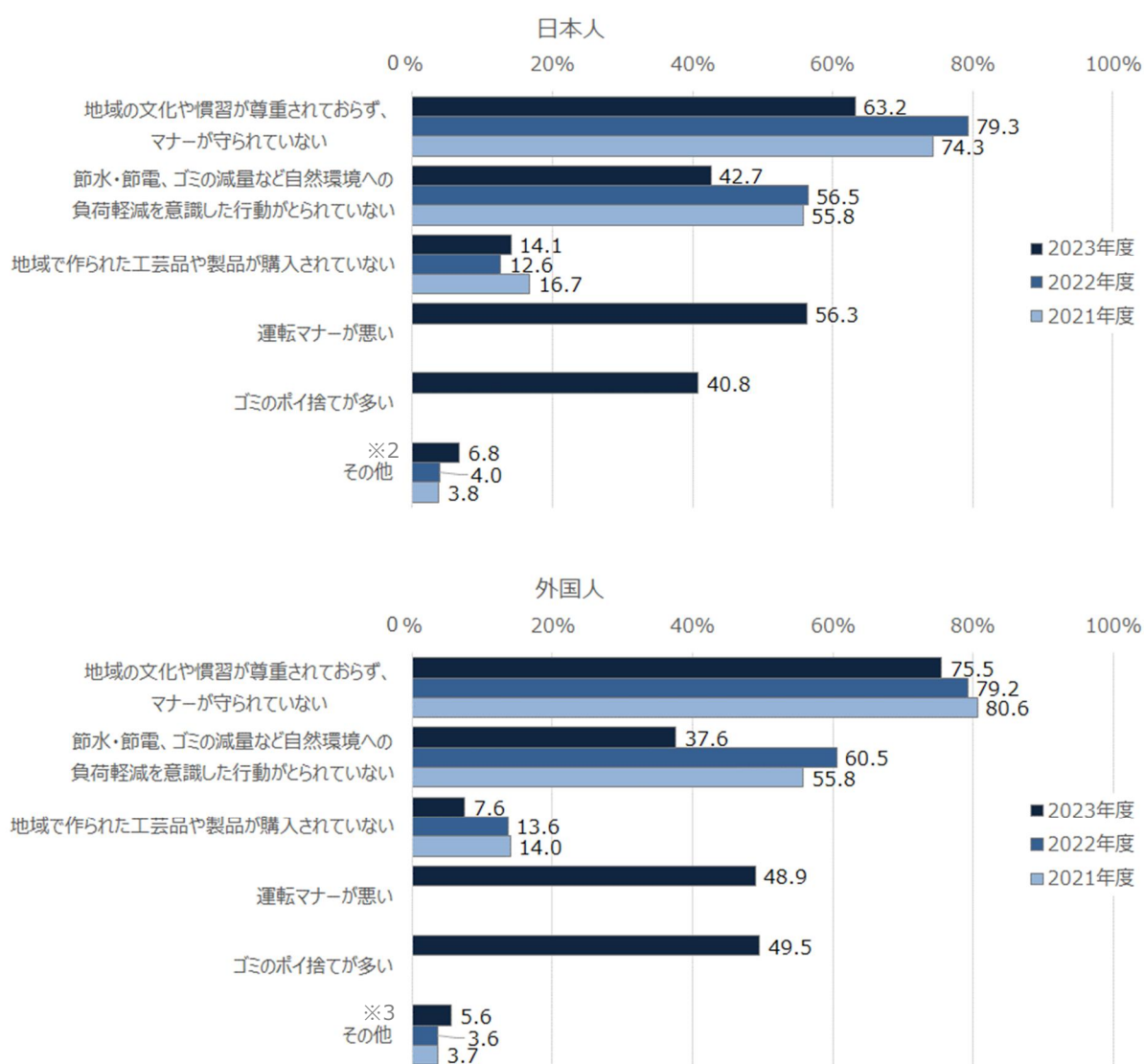


(3) 観光客の行動に対する評価の理由

Q17 観光客の行動に対する評価が低い理由としてあてはまるものをお選びください。

- 観光客の行動に対する評価が低い（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）人に対してはその理由も尋ねた。日本人、外国人いずれに対しても、「地域の文化や慣習が尊重されておらず、マナーが守られていない」が最も高いが、前回調査と比べると減少している。次いで、日本人に対しては「運転マナーが悪い」が高く、外国人に対しては「ゴミのポイ捨てが多い」と「運転マナーが悪い」が高い。

図表 7-3-1 （観光客の行動に対する評価が低い）理由としてあてはまるもの



※1：一部の選択肢は 2023 年度調査で新設されたものであるため、2022 年度以前の結果が表示されていない。

※2：「その他」の自由記述で挙げられた内容：横柄な態度をとる／差別している など

※3：「その他」の自由記述で挙げられた内容：大声で話すなどの騒音問題／トイレの使い方が悪い／態度が悪いなど

8. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見

Q18 将来の沖縄観光のあり方や、沖縄県の観光行政について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

- 「交通」に関する意見が 25.0%と最も多かった。特に「交通の便・公共交通」への不満・改善策を望む声が多く寄せられた。次いで「観光開発、施設・インフラ整備」、「自然・環境保全、活用」、「県民生活とのバランス、配慮」、「観光発展の重要性」と続く。

図表 8-1-1 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見【自由回答を分類】

	全体	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
交通	25.0	26.4	24.1	25.9	28.3	21.8	11.8
交通の便・公共交通	16.5	19.2	16.0	17.1	18.6	10.3	6.0
渋滞・混雑	7.5	11.2	4.6	11.2	8.0	6.5	4.9
モノレール	4.3	3.1	4.3	6.0	4.2	0.0	0.0
ルール・マナー、事故対策	4.1	4.0	3.7	4.0	3.8	13.7	2.3
バス	3.1	2.4	3.7	1.7	4.6	1.7	1.0
レンタカー	1.7	3.6	0.9	1.7	1.7	4.8	3.2
観光開発、施設・インフラ整備	19.9	22.7	21.0	19.1	19.0	13.7	14.7
自然・環境保全、活用	14.6	16.1	14.7	10.6	18.1	21.2	14.4
県民生活とのバランス、配慮	10.8	9.9	10.3	13.9	4.9	15.2	21.3
観光発展の重要性	10.4	11.1	10.5	9.0	10.5	19.6	7.3
観光客のマナー	8.9	8.1	9.8	10.5	4.5	12.0	8.5
文化の継承・保全、活用	7.6	4.1	9.6	7.9	4.8	1.7	8.4
ありのままの沖縄の良さを認識・広める	7.2	9.7	6.5	7.3	7.7	6.6	7.3
人材育成・県民教育（語学力向上含む）	6.4	5.5	7.4	6.4	5.4	3.6	3.2
PR情報発信	6.1	2.4	7.3	8.0	3.8	1.3	3.9
観光により経済発展・県民所得向上	6.1	6.4	5.9	5.7	7.5	7.0	2.7
観光産業の待遇改善	6.0	8.6	6.6	6.4	3.6	1.6	4.2
受入体制・受入環境の整備	6.0	6.7	4.9	8.3	5.4	8.3	2.4
良好な景観	5.2	8.2	4.6	3.1	7.1	8.1	7.1
環境美化・ゴミ処理	4.8	4.8	3.3	5.6	6.9	6.9	6.8
受け入れ側の意識、マナー、行動	4.2	2.7	3.5	6.2	4.3	4.0	1.2
案内板・案内	3.9	1.4	5.1	4.5	2.3	4.0	0.0
開発の抑制、観光客の抑制	3.8	6.9	2.9	3.2	2.9	10.8	9.8
オーバーツーリズム	3.8	3.1	2.9	5.1	1.8	12.3	9.5
コンテンツ、メニュー、商品開発	3.5	5.2	2.9	4.3	3.8	1.7	1.9
観光への依存・観光以外の産業振興	3.4	3.7	3.4	4.1	3.0	1.6	3.5
地産地消、域内消費拡大	3.1	3.0	3.9	1.6	4.0	0.0	2.7
観光客の分散、特定層の誘客	2.7	2.4	3.0	3.8	1.8	0.0	0.0
治安、安心・安全	2.7	4.2	2.6	3.6	1.0	3.8	0.0
道路の雑草・ゴミ対策	2.6	3.7	2.1	2.6	3.3	3.1	3.4
多言語対応	2.6	0.7	2.9	3.2	2.6	3.5	0.0
荒天時対策	2.3	0.6	2.5	1.9	2.8	6.5	2.0
県民が楽しめる観光	2.1	0.6	3.3	2.4	0.0	1.9	0.0
県内企業を優先すべき・県外企業が多い	2.1	2.9	2.7	2.1	0.6	2.0	0.0
長期滞在型へのシフト	2.1	1.7	2.0	3.2	1.7	0.0	0.0
おもてなし	2.0	1.3	2.3	2.2	1.5	3.0	0.0
客単価向上、消費促進	1.9	0.9	2.2	1.9	2.5	2.0	0.0
持続可能な観光	1.4	0.7	0.9	2.1	1.1	5.3	2.6
リピーターの増加	1.3	3.0	2.0	0.0	0.5	0.0	1.2
観光以外の施策（子育て、教育等）	1.2	1.3	1.1	1.2	0.7	3.4	1.4
財源の確保、観光税の導入	1.0	1.4	0.8	1.5	0.6	1.7	2.3
バリアフリー	1.0	2.2	0.9	1.3	0.0	1.7	0.0
その他	11.0	12.9	8.8	15.1	8.8	16.2	9.8